

# 6月 ひよこぐみだより



岐阜市大門町1番地

聖徳保育園



梅雨の季節になりました。新緑の葉の上を雨粒が跳ねています。天候が変わりやすいこの時期は、もともと体調を崩しやすい時期でもあります。新陳代謝が盛んな子ども達は、動くとき汗をかきやすく、あせもも出来やすくなります。いつも以上に子ども達の衛生面や安全面に気をつけて過ごしていきたいと思います。保育園の生活にも慣れてきた子ども達、寝返り・ハイハイが上手になった子、つかまり立ちができるようになった子など、一日一日子ども達が成長していく姿を見られるのは、保育士として何よりも嬉しく思います。



- ◎ 梅雨期の衛生に気をつけ、健康で気持ちよく過ごせるようにする
- ◎ ゆったりとした環境の中で、保育士との触れあい遊びを楽しむ



## 今月の予定



- |                 |               |                    |
|-----------------|---------------|--------------------|
| 3日 (火) すくすく親子教室 | 12日 (木) 内科検診  | 25日 (水) 検尿検査       |
| 4日 (水) 虫歯予防デー   | 13日 (金) 避難訓練  | 26日 (木) 検尿検査       |
| 7日 (土) 園内外消毒    | 父の日プレゼント持ち帰り  | 眼科検診               |
| 9日 (月) 誕生児写真撮影  | 14日 (土) 園内外消毒 | 27日 (金) 誕生会        |
| 愛知淑徳大学実習生       | 15日 (日) 父の日   | 耳鼻咽喉科検診            |
| (~21日)          | 21日 (土) 園内外消毒 | 28日 (土) 園内外消毒      |
| 10日 (火) 時の記念日   | 23日 (月) 本堂参拝  | 30日 (月) 名古屋文化化学実習生 |
| すくすく親子教室        | 24日 (火) 保育参観  | (~7/11)            |



### 梅雨を清潔に過ごそう

梅雨に入り、蒸し暑い時期がやってきました。登園時に雨で服が濡れた時や、じっとりと汗をかいている時は、体が冷えないよう、すぐに着替えるようにします。また、夏場はシャワーや沐浴をして汗を流しますので、着替えを多めに持ってきてください。

### 夏の食中毒！食中毒の菌を「付けない・増やさない・やっつける」

6～9月は、食中毒の原因菌が増えやすい季節です。

- ①大人が食事を作る時、子どもが食べる時には必ず手を洗う
  - ②肉・魚など生ものを扱ったら、その都度、手を洗う
  - ③野菜はしっかり洗って食べる
  - ④生ものは早く食べる
  - ⑤食材はすぐに冷蔵庫にしまう
  - ⑥しっかり加熱して食べる
  - ⑦食器、調理器はいつも清潔にする
- この7つの点を注意して食中毒を防ぎましょう。

## 赤ちゃんの水分補給

大人に比べて子ども達は汗かき。特に0～2歳の頃は新陳代謝がよく、おしっこの回数も多いのでたくさん水分が必要です。のどが渴いても言葉で伝えられないので、大人が気を配ってあげましょう。

### ☆水分補給のコツ☆

- ・水分は吸収のよい湯冷ましや麦茶、番茶などがオススメ！
- ・お散歩の前後や遊びの途中も忘れず！
- ・30分くらいに一度、50mlほど目安
- ・嫌がるとき無理にあげなくても大丈夫。時間



気をつけましょう

※気温の変化により体力が消耗し、発熱や下痢などの症状を起こしやすくなります。睡眠を十分にとり、消化の良い物・バランスの良い物を食べ、元気に乗りきりましょう。

※夏に流行する感染症にプール熱・ヘルパンギーナ・手足口病などがあります。高い熱が出て、いつもと様子が違うときは、のどや目・発疹や水泡の有無を調べてみましょう。

## 6月4日は虫歯予防デー

～歯が生えはじめたら～



歯が生えはじめる時期や順序には個人差がありますが、乳歯はおおよそ生後5か月頃から生えはじめます。乳歯は柔らかく虫歯になりやすいので、生えはじめた頃から口の中を清潔にする習慣をつけていきましょう

### ◎歯みがきの方法◎

[ 歯の生えはじめ頃 ]

水をつけたガーゼを指に巻き付けて、歯の表面の汚れを粘膜を傷つけないように軽く拭き取ります。そして、子どもの口の中を見る習慣をつけましょう。

[ 1歳頃 ]

朝晩2回は、小さな柔らかい歯ブラシで歯面を軽くこすって汚れを取りましょう。奥歯や前歯の後ろは歯垢がたまりやすいので念入りにしましょう。

[ かむことについて ]

かむことは、食べ物の栄養を十分に吸収させるなど、健康と大きなつながりがあります。0歳の時から食事の中でかむ習慣をつけていくようにしましょう。

## 心と言葉をはぐくむ接し方

言葉の発達が著しい乳幼児期です。子どもの発達には個人差がありますが、どれだけ言葉が言えるようになったかということ以上に、相手の言った言葉を理解する力がつくことが大切です。自分の伝えたい気持ちがあって初めて言葉がでてきます。まだしゃべれなくても「雨が降ってきたね」「気持ちいいね」などと子どもに気持ちを合わせてたくさん言葉をかけてあげましょう。

### 『 0歳 』

- ◎話しかけると声を出す
- ◎声を出して笑う
- ◎喃語が始まる
- ◎指差しが始まる
- ◎自分の名前がわかるようになる
- ◎大人の言葉を理解して行動する
- ◎「ちょうだい」というと相手に渡す真似をする

### 『 1歳 』

「ワンワン」「マンマ」など意味のある言葉が出るようになる

